

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ



2024-25年度 国際ロータリー会長 ステファニー・アーチック 「ロータリーのマジック」
 2024-25年度 第2570地区ガバナー 五十幡和彦 「入って良かったロータリー」
 2024-25年度 志木ロータリークラブ会長 三上隆俊 「更なるクラブの魅力を協創しよう」

第2416回 例会

2025-1-8

- ◎司会 國分 学 副会長
- ◎点鐘 三上 隆俊 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 荻野 光一 副SAA
- ◎四つのテスト 荻野 光一 副SAA
- ◎ゲスト 森 直人 様
 (りそなコエドテラス館長)
 園田 孝文 様 ((株)地域デザイン
 ラボさいたま 代表取締役社長)
 栗原 鹿の子様



ます。

卓話をお引き受け下さいました、森直人様。ご多忙の中、誠に有難うございます。

実は、日頃からロータリー活動へのご協力として会場のご提供をはじめ、地元にとって無くてはならない金融機関としての責務を果たされている、埼玉りそな銀行志木支店様に、年明け最初の例会で志木クラブへの先駆けとして勢いを付けていただきたい思いがあり、年度の初め頃に、名誉会員である内海支店長へ卓話の依頼をさせていただきました。ご尽力下さいました、内海支店長、誠に有難うございました。

ところで、当たり前のようにこの3階会議室を使用させていただいておりますが、銀行内に事務局や例会場を設けさせていただいていることは、信頼や信用の証であり、志木ロータリークラブのステータスを保っている一つであると思っております。

埼玉りそな銀行志木支店様のご協力に改めて敬意を表させていただき、今例会も開催させていただきますことに感謝を申し上げ、会長挨拶と致します。



ソングリーダー 荻野光一 副SAA

「会長挨拶」

会長 三上隆俊

新年明けましておめでとうございます。本日も、多くの会員の皆様にご出席をいただきまして有難うございます。

さて、今年の干支は乙巳。「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされているそうです。

私自身も努力を怠らず、更なる志木クラブの魅力や可能性を皆様と共に、安全運行を心掛けながら見出していきたいと思っております。本年もご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

「理事会報告」(1/8分) 会長 三上隆俊

- 1) 今年度中間収支決算の件
中間収支決算書が会計より提出され、報告後承認された
- 2) 年忘れ例会収支決算の件
年忘れ例会(12/18)の収支決算書が親睦活動委員会より提出され、報告後承認された
- 3) 志木市体育協会新年賀詞交換会の件(2/1)
志木市体育協会より新年賀詞交換会開催に対しての出欠席の依頼があり、会長が出席することとした。会費 6,000 円支出
- 4) 志木市商工会新春講演会及び新年賀詞交換会の件(1/24)
志木市商工会より新春講演会及び新年賀詞交換会開催に対しての出欠席の依頼があり、会長が出席することとした。会費 5,000 円支出
- 5) 岩下正基会員の件
慶弔金内規により病氣見舞いとして 10,000 円支出
- 6) 地区役員報告の件
委員会報告及び地区役員報告として例会のなかで報告することとする

「幹事報告」 幹事 田中幸彦



1. 国際ロータリー日本事務局より 2件受信
①1月のレート\$1=¥157
②職業奉仕月間リソース案内
2. 地区事務所より地区戦略計画優先項目について受信
3. C.P.I.2024 年度教育里子のお知らせ受信
4. C.P.I.Mates2024年12月17日刊
5. バギオだより Vol.106 2025年1月号
6. 小諸 RC より会報受信

「今月の誕生日祝」 親睦活動委員 戸國大介



- 7日 西浦建貴会員 27日 古田征也会員
29日 大村相基会員
19日 瀧澤悦子さん(事務局)

「誕生日スピーチ」 西浦建貴会員

昨日1月7日が誕生日でしたが、自分が何歳になったのか分からなくなってきました。昨日もかみさんがケーキを買ってくれたのですが、数字のろうそくが53なのか54なのか、年齢早見表で53歳だと判明しました。正月休みはスキーにも行きましたが、年々、思うように自分の身体が動かなくなってきました。ただ、そんな自分に抗って、戦っていく一年にしたいと思います。今後共よろしく願います。ありがとうございました。(談)

「委員会報告」

- 親睦活動委員会 委員 古田征也
志木 RC 単独ゴルフコンペ

2/26(水) オリンピックイーストエーデル
スタート 9:18 から 9:38 4組

「『ロータリーの友』記事紹介」

雑誌・R 情報委員会 委員長 神山昌之

『ロータリーの友』1月号記事紹介

【横組】

P5 会長メッセージ

「喜びをもたらそう」

P6 「ロータリーとは」

【縦組】

P4 「伝統技法と職業奉仕の心」

日本の文化にとって大事な要素です。

P16 「につぼんふうど」

北陸能登特別編

1年前の出来事を忘れない為に！



以上、興味のある記事を紹介しました。

「卓話者紹介」

埼玉りそな銀行志木支店長・名誉会員 内海俊宏様



皆様、あけましておめでとうございます。
本日は弊社グループの取り組みを紹介させて頂く機会を頂きましてありがとうございます。

卓話者の紹介をさせていただきます。

森 直人 様

2006年入社

りそな銀行、埼玉りそな銀行両方で、支店や本部の経験をされ、りそな銀行の上海の駐在事務所に一年間語学留学。コエドテラスの直前は狭山支店の副支店長と、グローバルからローカルまで幅広く活躍された方です。

我々りそなグループは銀行業務を飛び越えて、地域の皆さま、地域の活性化に寄与していきたいと考えております。その一丁目一番地の大事な所として、コエドテラスの整備運営をしております。その辺りのご紹介をさせて頂きたいと思っておりますので、今日はよろしく願いいたします。

「卓話」

「りそなコエドテラスの取り組み」

りそなコエドテラス 館長 森 直人様



りそなグループのパーパスにある「金融+で未来をプラスに」を具現化する施設として、新たな産業の創出や起業家の育成に向けたインキュベーションスペースやチャレンジショップ・シェアキッチンを設置するとともに、地域の食材を扱うカフェやレストラン等を通じて川越、埼玉のブランドを発信する「りそなコエドテラス」を2024年5月より新たに展開しています。

当施設は埼玉りそな銀行の前身銀行の一つである旧第八十五国立銀行は川越藩の御用商人によって1878年に埼玉県下で初めて設立された銀行として使用されていた歴史的な建物です。1918年に現在の場所へ移転新築し、1996年に国の登録有形文化財として埼玉県で第1号の登録を受け、2024年で設立から146年となります。金融機能を担う銀行の店舗から「りそな コエドテラス」として生まれ変わり、時を越えて、川越、埼玉の産業創出やブランド発信、暮らしを豊かにすることをコンセプトとしています。

八十五銀行には今もなお保存している渋沢栄一の遺した扁額『順理則裕（じゅんりそくゆう：りにしたがえば、すなわちゆたかなり）』にあるこの言葉は、「道理に生きることが、すなわち繁栄につながる」と解釈されています。渋沢栄一の「道德経済合一説」の考えを踏ま

例会に変更になる場合があります。ご確認下さい

■和光RC 毎週(月) 12:30~ うけら庵

■富士見RC 毎週(金) 12:30~ 島田ビル1F

第2グループ各RC 例会日・会場一覧(順不同)

事務局 048-455-0088

事務局 049-251-6596

2416-3◇

志木RC会報

え、新たな産業創出に向けて「なすべきことをなし、川越を起点に埼玉全体をゆたかにする」と捉え、私たちへの具体的なメッセージと考えています。渋沢栄一の遺した『順理則裕』は、時を越えて、りそなコエドテラスを貫く理念として守り続けていきます。短期的な利益を目指すのではなく、次の100年の成長を中長期的に支える拠点にしていきたいと考えています。

施設の大きな特徴としては観光立地を生かしたインキュベーション施設として、そして川越におけるランドマーク的な存在として、他には類の見ない多くの機能が1ヶ所に集約された施設だと考えています。3階建ての施設には地域の物産を販売するコーナーや埼玉県産食材を使ったレストラン、川越市の町並みを見渡せるテラスなどを用意し、観光客が気軽に立ち寄れるよう皆さんに愛される施設としていきたいと考えています。またシェアキッチン、チャレンジショップなどテストマーケティングに適した拠点として、例えば、3Fで共創パートナーとともに構想を練ったビジネスアイデアを1Fのチャレンジショップやシェアキッチンで、観光客向けに自身の商材を実証するという流れを当施設内においてワンストップで提供できることは強みだと考えています。インキュベーション施設では、当グループ社員が常駐し、オープンな共創が生まれる場としていきたいと考えています。具体的には新たなビジネスのアイデアを持った起業家らを県内外から集め、技術を持った地元企業などとマッチングする。また起業家の拠点として住所利用なども利用できるようし、「当施設から埼玉県内外、海外への進出を行う起業家などの輩出」も狙っていきたいと考えています。

りそなコエドテラスが今後目指していきたい姿があります。川越市広報「時が人を結ぶまち、川越で暮らす日々」の川越の歴史：幕

末～第二次世界大戦のうち、幕末の項には、「川越藩は、外国の事情に最も通暁した藩の一つであり、内陸都市にも拘わらず時代の変化を読む先取の風土が生まれた。当時の創業者らもそうした川越人の起業家精神の一例である。」と記載されています。地域の起業家を支援する拠点として、「時代の趨勢に合わせた起業家精神や起業文化が根付くような拠点」「年代問わず新たなアイデア等が賞賛される場」とすることで、県内外の起業家やスタートアップ企業が集まる共創プラットフォームを目指していきたいと考えています。りそなコエドテラスの名前の由来にあるように「憩いの場・集いの場」として人が集い小江戸川越の町を照らすような場としていきたいと考えています。



スマイル発表 神山威仁副SAA



出席報告 市之瀬正靖委員

志木ロータリークラブ会報アーカイブ

2014 年 1 月 15 日(相馬敏克会長年度)
第 2031 回例会会報より再録

卓話

「年男に聞く——新年の抱負」

西川武重郎 会員

私は今年 72 歳
になります。

振り返ってみ
て私の人生は人
に恵まれ、時に恵
まれていました。
それは自分の努



力だけではなく、運に恵まれていたと云わざ
るを得ません。運に恵まれたと云うことは、
やはり先祖の徳のおかげだと思っています。

ピアノなどほとんど無い時代に志木小学校
にはピアノがありました。蓋を開けると私の
父の名前が書いてあり、友達からそれを云わ
れると気恥ずかしい思いをしたことをおぼえ
ています。戦前自動車がほとんど無い時代に、
志木町にはフォードの消防車がありました。
これも私の父がフォードの乗用車を買って消
防車に改造したもので、戦後、かなり長い間
現役として走っていました。その父も 36 歳
と云う若さで死にましたが、今私は父がやり
残したことをさせられている様に思えること
があります。

私はロータリーに入って本当に良かったと
思っています。

ロータリーの心とはなにか。それは「人の
ために奉仕する心」だと思うのです。

田中作次さんは RI 会長として「奉仕を通し
て平和を」と云うテーマを掲げられました。
氏は大変高額なお金を財団等に寄付されてい
ます。それが青少年育成に大きく貢献し、世
界の平和を支えていると云うことを身をもっ
て知り、喜びを持って奉仕されているのだと

思うのです。

私はガバナーの時「利他の心で行動しよう」
と云うテーマを掲げました。

自分さえ良ければと云う生き方で、幸せを
手にした人は居ないはずで。やはり幸せな
人生を送るためには、「人のために奉仕する」
と云うロータリーの心を実践することだと思
うのです。

私のガバナー年度に東日本大震災が起こり、
地区大会を中止しましたが、大会には九州大
学医学部名誉教授の廣畑富雄パストガバナー
をお呼びし講演していただくことになってい
ました。残念ながらそれは出来ませんでした
が廣畑パストガバナーは次の様なことを話さ
れています。

「ロータリーは生活態度そのものであり心で
ある」

「ロータリーの最高の報酬は感動である」

「ロータリーは最高の人生を送るための必要
条件である」

と。そして四つのテストを唱和することが大
事なのではなく、それを実践することが大事
なのだとも云われています。

私も残された人生、「ロータリーの心と原点」
を忘れることなく、人のために奉仕する人生
を送りたいと思っています。

西川武重郎会員の没後十年(2014.11.9)を記念し、
茲に謹んで掲載させていただきました

Shiki Weekly Archive

●出席報告	出席向上委員	市之瀬正靖
会員数51名	出席義務者48名	免除者3名
本日出席	本日欠席	本日出席率
38名	13名	77. 55%
前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(7名中1名)	86. 27%	80. 31%